

YOU&YOU通信 vol.183 ～交際カップルの声～

交際期間：6ヶ月
男性：Yさん(43歳)
女性：Zさん(41歳)

YOU & YOU 交流会で出逢い、意気投合♪
現在交際中のカップルにインタビューを行いました。
お二人の声をお届けします。

- ♡ YOU & YOU に参加したきっかけは？♡
Yさん：会社の上司に勧められて。
Zさん：じっとしては出会いはないと思った。吉田さんに勧められて。
- ♡ 初めて交流会に参加した時の心境は？♡
Yさん：あまり乗り気ではありませんでしたが、参加した人に失礼のないように受け答えはしっかりしようと思っていました。
Zさん：緊張する・・・けど楽しもう！
- ♡ 現在の心境は？♡
Yさん：結婚したいと思っています。
Zさん：毎日が楽しいです。思い切って交流会に参加してみても良かったです。
- ♡ 初めて交流会に参加した時の心境は？♡
Yさん：とりあえず参加してみたいかがでしょうか。
Zさん：悩まずに参加してみるといいと思います。
- ♡ まだ参加していない独身者へひとこと♡

～～楽しみながら、“素敵な出会い”を探してみませんか？登録お待ちしております♪～～

登録対象者 男性：山都町に在住もしくは勤務している 20 歳から 49 歳の独身の方
女性：町内外 20 歳から 49 歳の独身の方

問合せ YOU&YOU 事務局（役場山の都創造課内）坂元・吉田
【電話番号】 72-1158 【専用電話】 090-9565-9589
【専用アドレス】 marriage.support@town.kumamoto-yamato.lg.jp

会員登録はこちら



やまと文化の森だより 企画展のご案内

※新型コロナウイルス感染症の状況により、内容が変更になる場合があります。

好評開催中!! (最終日は 15 時までの展示です)

○第3回クリスマスツリーコンテスト
(12/1～12/25)

今年も山都町内の皆様にご協力をいただきクリスマスツリーコンテストを開催します。
毎年華やかなイルミネーションや、趣向をこらしたアイデアツリーが並びます。



○明光保育園作品展(1/6～1/29)

テーマは「まつりだあ～いすき復活！八朔祭」子ども達が大好きなお祭りの風景をイメージして作品づくりをしました。

○高本静昇 書道作品展(1/15～1/29)

山都町安方在住の書道家、高本静昇（勝之）さんの作品を展示します。
小学2年から書道を習い始めて70年余り、ぜひご覧ください。

ハッピークリスマスコンサート
12/24 14:00 スタート 入場無料!!

チェロ・バイオリン・ピアノでクリスマスソングや冬の名曲を楽しく演奏します。

山都町在住の長野なずなちゃんや須藤かよさん、梶原美耶子さんも演奏します。
お楽しみに。



問合せ やまと文化の森 山都町下市 16 番地 ☎ 72-9400 開館時間 9:00～17:00 入館無料
休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日または振替休日の場合は次の平日)、年末年始など

わたしたちの人権

213

誰もが人間として生きていくうえで
侵すことのできない当然の権利
これが『人権』です

人権作文の紹介(令和三年度)

今月は、蘇陽小学校 五年(当時)
佐藤雅美さんの作文をご紹介します。

「人権学習で考えたこと」
二学期の人権学習で、自分の思いを伝える大切さを学習しました。主人公が、いじわるをされた友だちの物をかくしたという話でした。主人公は、先生に相談をして、みんなの前でこれまでのことを作文にして発表しました。

私は、みんなに苦しかったという本当の気持ちを伝えなかったから、主人公は、みんなの前で作文を読んだのだと思います。ずっといじめられていたことや、物をかくしてしまったことを、だまっていたでもスッキリしないし、本当のことを正しく



知ってほしいという思いがあったと思います。クラスを変えるために、まずは自分が行動して変わろうとしたのではないかと考えました。

私も、立ち上がった主人公と似た経験をすることがあります。理由は分からないけど、どうしようもなく、とても気もちが落ち込んだことがありました。その時は、とてもきつかったです。今までにないほど、とても苦しい気もちで、ずっと過ごしていました。心なのに、体でも心が重いと感じました。ケンカやもめごとなど何もないのにほぼ毎日涙が出ていて、泣いても心が晴れませんでした。今までもあったいやだったことを忘れないようにしようと思っても考えられない、それがずっと続いていて、もうたえられなくなりました。そして、

お母さんに相談しました。お母さんに話すとき、少し前向きになれたけど、モヤモヤした気持ちが残っていました。

その時、先生に「発表してみたら。」

と言われるまで何がつらいのかずっと分かりませんでした。先生から言われたとき、みんなの前で自分の思っていることを発表してみようと、やっと答えが出たような気がして、ホッとした気もちになりました。

みんなに発表するときは、みんなのことを気にして、きんちょううしていました。今まであったことや、今の自分が思っていることを発表しました。発表してみたら、今まで感じたことがない気もちがわいてきて、スッキリしました。心も体も軽くなったような気がしました。そのあと、何人かの友達から「ひとりじゃないよ。」

「教えてくれてありがとう。」
などと温かい言葉をかけられて、心も体もとても温かくなりました。そのことがきっかけで、友達からも、なやみや自分と似ていることで苦し

いことなどを相談されるようになりました。そのころから私は、私に必要な存在なのかな、と思うようになりました。プラスに考えることで、こんなにたくさんいいことがあるなど気付くようになりました。

五年生になって、それまでの経験が新聞の記事になることになりました。そのことを聞いたとき、あのときの自分みたいに苦しんでいる人がいるかもしれないから、その人の支えになれたらいいなと、とてもうれしくなりました。何日か過ぎて、取材がありました。取材が終わった後、私はこの経験が誰かの役に立つといいなと思いました。私も、主人公みたいに勇気を出してみんなの前で発表したことで、自分を変えることができましたし、みんなも分かってくれたと思います。私は、これから苦しい人がいたとき、自分の経験を話して寄り添ってあげたいです。

自分の人権を守り
他人の人権を守る
責任ある行動を



©2010 熊本県くまモン